

財務状況を全般的に説明する資料

◆ 事業活動収支計算書の予算対比について

教育活動収支の収入は21,712千円の増となり、内訳は、学生生徒等納付金427千円の減、手数料2,975千円の増、寄付金26千円の減、経常費等補助金16,066千円の増、付随事業収入1,767千円の増、雑収入1,357千円の増です。経常費等補助金の増は主に、大学の10,550千円増によるものです。

教育活動収支の支出は29,044千円の増となり、内訳は、人件費9,416千円の減、教育研究経費828千円の増、管理経費43,361千円の減、徴収不能額等80,993千円の増で、人件費・管理経費は節約に努めました。徴収不能額等の増は、短期貸付金が長期貸付金へ振替となり、徴収不能額引当金を計上しました。結果、収支は7,332千円の減となりました。

教育活動外の収入は5,442千円の減となり、主に収益事業部の利益収入5,436千円の減です。

教育活動外の支出は228千円の減となり、借入金等利息の228千円の減です。結果、収支は5,214千円の減となりました。

特別収支の収入は2,041千円の減となり、主に現物寄付金の1,958千円の減です。

特別収支の支出は9,000千円の増となり、主に大学の資産処分差額の7,832千円の増と図書除却802千円の増となり、結果、収支は11,041千円の減となりました。

基本金組入前当年度収支差額は23,587千円の減となりました。

基本金につきましては、基本金組入額14,030千円の減です。

◆ 事業活動収支計算書の前年度対比について

教育活動収支の収入は109,549千円の増となり、内訳は、学生生徒等納付金15,389千円の増、手数料921千円の増、寄付金18,733千円の増、経常費等補助金51,013千円の増、付随事業収入16,853千円の増、雑収入6,640千円の増です。学生生徒等納付金の大きな要因は、学生数の増加によるものです。寄付金・経常費等補助金の増は各学校が寄付金・経常費等補助金の獲得に努めた結果です。付随事業収入は、主に補助活動収入15,087千円の増です。雑収入の内訳は、大阪労働局の助成金3,129千円の増、保険収入2,941千円の増です。

教育活動収支の支出は299,738千円の増となり、内訳は、人件費17,721千円の減、教育研究経費2,505千円の増、管理経費233,621千円の増、徴収不能額等81,333千円の増で、人件費の内訳は、教員人件費41,613千円の減、職員人件費21,658千円の増、退職金等2,234千円の増です。管理研究経費の内訳は、寄付金150,000千円の増、徴収不能引当金82,000千円の増です。結果、収支は190,189千円の減となりました。

教育活動外の収入は4,544千円の増となり、内訳は、受取利息・配当金1,048千円の減、雑収入1,000千円の減、収益活動事業収入6,592千円の増です。

教育活動外の支出は3,552千円の減です。結果、収支は8,096千円の増となりました。

特別収支の収入は46,486千円の増となり、内訳は、現物寄付3,323千円の減、施設設備補助金49,809千円の増、支出は17,240千円の減となりました。結果、収支は63,726千円の増となりました。

基本金組入前当年度収支差額は118,367千円の減となりました。

基本金につきましては、昨年度基本金取崩額145,429千円に対して、基本金組入額405,970千円計上しました。